

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	半期1単位 通年2単位	学年（コース）	3年次～ 再履修
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				
【注意事項】 ・保健Ⅰ（1年次）の再履修は「前期」の内容になり、 保健Ⅱ（2年次）の再履修は「後期」の内容になります。 ・保健Ⅰ（1年次）の未履修生は前期を、保健Ⅱ（2年次）の未履修生は後期を履修してください。					

1 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。

2 指導の重点

生涯を通じて、自他の健康の保持増進のために、
 ① 現代社会における生活習慣病、薬物乱用、精神疾患などの健康に関わる問題について学習します。
 ② 新しい時代の健康の考え方について学習します。
 ③ 安全な社会づくりについても学習します。

3 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	学習活動（指導内容）	評価方法
4	第1単元 現代社会 と健康	5 h 健康の考え方	・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意志決定や行動選択 ・健康に関する環境づくり	課題 (記述の点検) ノート (記述の点検)
5		16 h 健康の保持増進と 疾病の予防	・生活習慣病とその予防 ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	
6			・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	
7		6 h 精神の健康	・欲求と適応機制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処 ・心の健康と自己実現	
9		4 h 交通安全	・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり	
9		4 h 応急手当	・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当	
10	第2単元 生涯を通 じる健康	8 h 生涯の各段階にお ける健康	・思春期と健康 ・結婚生活と健康 ・加齢と健康	
11		7 h 保健・医療制度及び 地域の保健・医療機 関	・我が国の保健・医療制度 ・地域の保健・医療機関の活動 ・さまざまな保健活動や対策	
12	第3単元 社会生活 と健康	7 h 環境と健康	・環境の汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策	
1		7 h 環境と食品の保健	・環境保健にかかわる活動 ・食品保健にかかわる活動 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健	
2		6 h 労働と健康	・労働災害と健康 ・働く人の健康の保持増進	

計 70 時間（50 分授業）

4 課題・提出物等

- ・教科書に従って進めていきます。
- ・考査は学期末に実施（年2回）する予定ですが、中間考査においても実施をする場合があります。
- ・考査に向けて、ノート提出を求めることがあります。また、副教材とは別に、各自でノートを準備してもらう場合があります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。

①関心・意欲・態度	②思考・判断	③知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全について関心をもっている。 ・学習に意欲的に取り組んでいる。（ノートをとったり、発問をしたりするなど） ・授業の出席状況が良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全についての課題解決を目指して、総合的に考え判断し、それらを表している。 ・選択すべき行動を適切に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 ・理解していることを、発言したり、記述したりすることができる。

以上の観点を踏まえ、

- ・日頃の学習態度・出席状況・課題の提出状況・定期考査の点数を総合的に判断し評価します。

6 担当者からの一言

健康に関する知識や理解を深めて、自分で健康を管理・改善していく実践力を身につけましょう。保健という科目は、生活に直結する大切な学習の場です。間違った情報等に惑わされないように、確実に正しい知識と生活に生かせる実践力を身につけましょう。日頃の学習態度・出席状況・課題の提出状況・定期考査の点数を総合的に判断し評価します。